

東北地方 1か月予報

(12月31日から1月30日までの天候見通し)

平成17年12月30日
仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

12月に入ってから気温の低い状態が続いているが、2週目かけて強い寒気が南下するため、期間の前半は引き続き気温の低い日が多い見込みです。

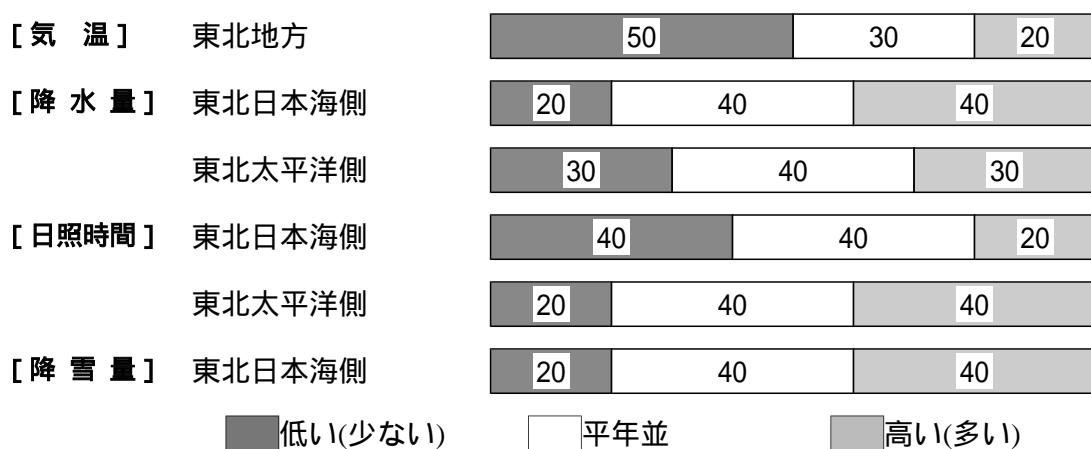
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。
冬型の気圧配置となる日が多く、特に2週目は強い寒気が南下する見込みです。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べ晴れの日が多いでしょう。

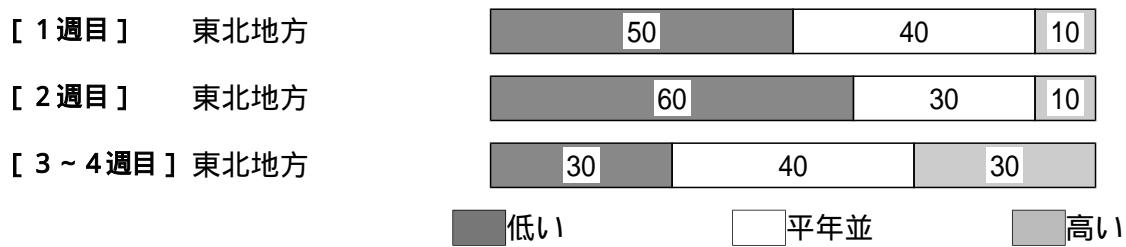
向こう1か月の平均気温は東北地方で低い、降水量は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側では平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側では平年並が多い、東北日本海側の降雪量は平年並が多いでしょう。

週別の気温は、1週目と2週目は低い、3~4週目は平年並でしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 12月31日(土) ~ 1月30日(月)
1週目 : 12月31日(土) ~ 1月 6日(金)
2週目 : 1月 7日(土) ~ 1月13日(金)
3~4週目 : 1月14日(土) ~ 1月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は1月6日

3か月予報：1月25日(水) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	0.8	44.6	148.6	22	1.7	1.2	0.4
新庄	-1.2	183.6	42.6	280	-0.5	-1.0	-1.6
若松	-0.6	81.3	79.8	183	0.2	-0.3	-0.9
深浦	-0.2	98.0	31.7	124	0.8	0.1	-0.7
青森	-1.3	145.9	57.0	252	-0.5	-1.0	-1.7
むつ	-1.4	94.2	77.3	167	-0.5	-1.1	-1.8
八戸	-1.0	48.6	133.7	99	-0.2	-0.7	-1.4
秋田	0.0	117.2	45.9	140	0.9	0.3	-0.4
盛岡	-2.0	52.1	123.5	109	-1.1	-1.7	-2.4
宮古	0.4	52.8	162.0	37	1.3	0.7	-0.1
酒田	1.6	154.9	40.4	141	2.5	1.8	1.1
山形	-0.4	76.6	89.4	162	0.4	-0.2	-0.8
仙台	1.6	33.7	151.5	32	2.4	1.8	1.2
石巻	0.7	34.6	166.8	4	1.5	0.9	0.3
福島	1.5	45.2	135.8	87	2.3	1.7	1.2
白河	0.3	31.0	161.1	59	1.1	0.5	-0.1
小名浜	3.7	47.3	189.2	0	4.5	3.9	3.3

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3 ~ +0.6	74 ~ 104	97 ~ 106	86 ~ 104
東北日本海側	-0.4 ~ +0.6	91 ~ 109	95 ~ 110	93 ~ 112
東北太平洋側	-0.3 ~ +0.7	58 ~ 101	96 ~ 104	72 ~ 101

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.5 ~ +0.8	-0.8 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.9
東北日本海側	-0.5 ~ +0.7	-0.8 ~ +0.7	-0.5 ~ +0.8
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.8	-0.8 ~ +0.8	-0.6 ~ +0.9

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成17年12月30日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(12月31日~1月30日):

冬型の気圧配置となる日が多く、特に2週目は強い寒気が南下する見込みです。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

1週目(12月31日~1月6日):

期間のはじめは高気圧に覆われ晴れる日もありますが、その後は低気圧や冬型の気圧配置で東北日本海側を中心に雪や曇りの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

2週目(1月7日~1月13日):

冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と比べ曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と比べ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は低いでしょう。

3~4週目(1月14日~1月27日):

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

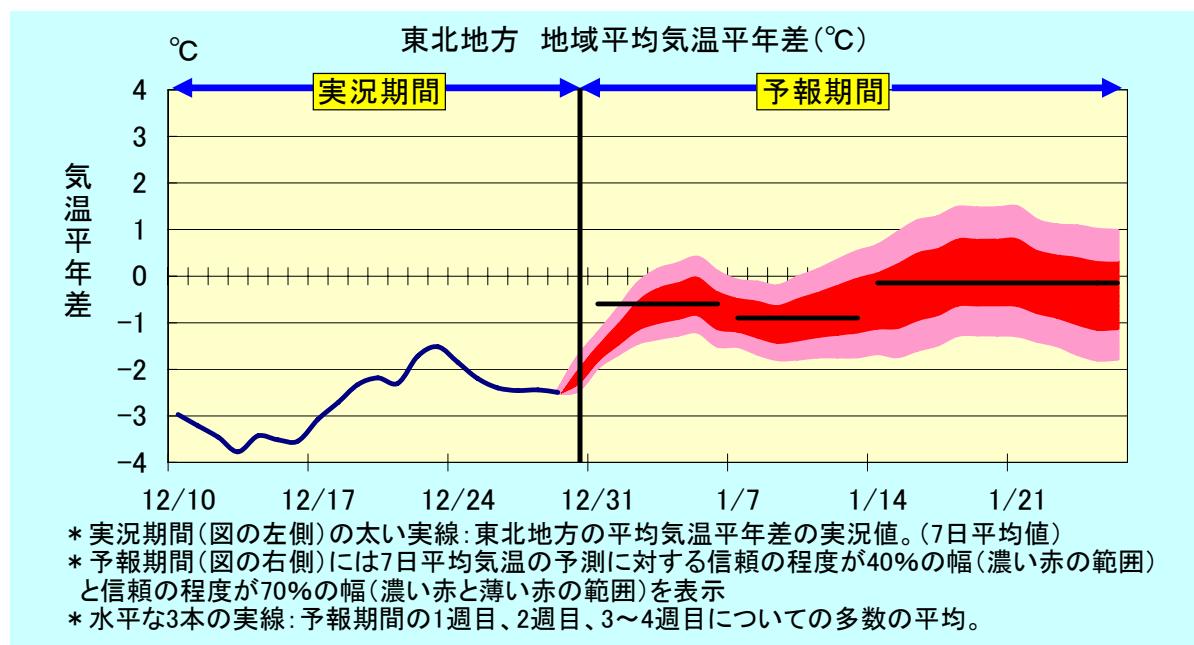
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	4.6日	1.0日	1.2日	2.4日
東北太平洋側	17.6日	4.2日	4.2日	9.2日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目を「低い」、3~4週目を「平年並」と予測している。予報は数値予報通りとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

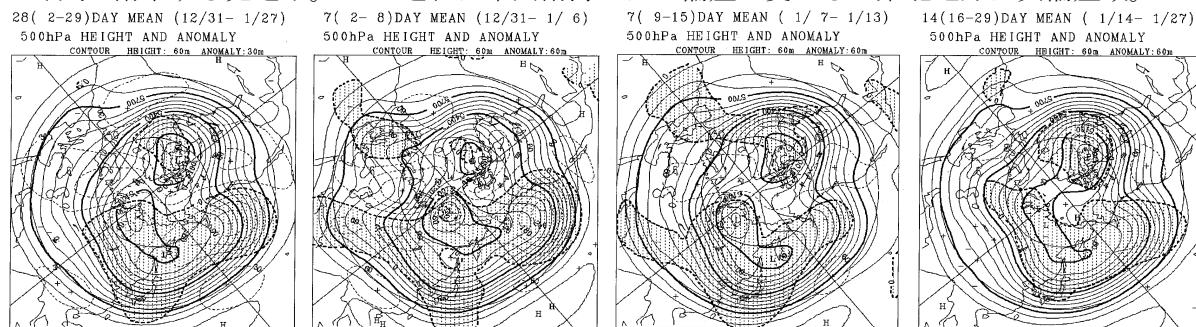


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、シベリアから日本付近、太平洋の高緯度にかけて広く負偏差で、寒気が南下し易い状況は続く。

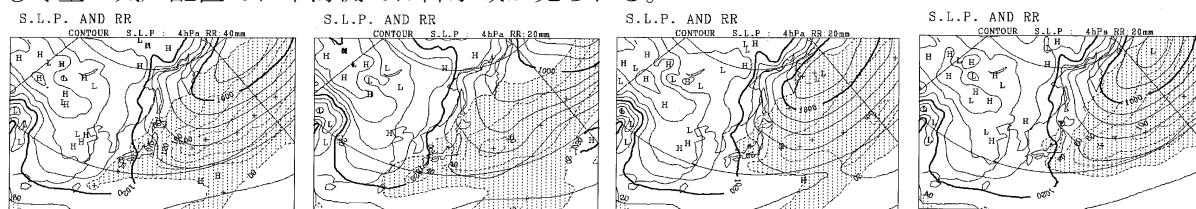
1週目はユーラシア大陸から日本にかけては偏西風の蛇行が大きく、日本付近は負偏差となり寒気が南下し易い。2週目は月平均と同様に日本付近は広く負偏差に覆われる。1週目よりも強い寒気が南下する見込み。3~4週目は本州南海上は正偏差に変わると予想されるが東北地方は負偏差域。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸に高気圧、アリューシャン付近に低気圧が見られ、平年同様の冬型の気圧配置。降水域は広く日本付近に広がるが、まとまった降水域が日本海側に見られる。

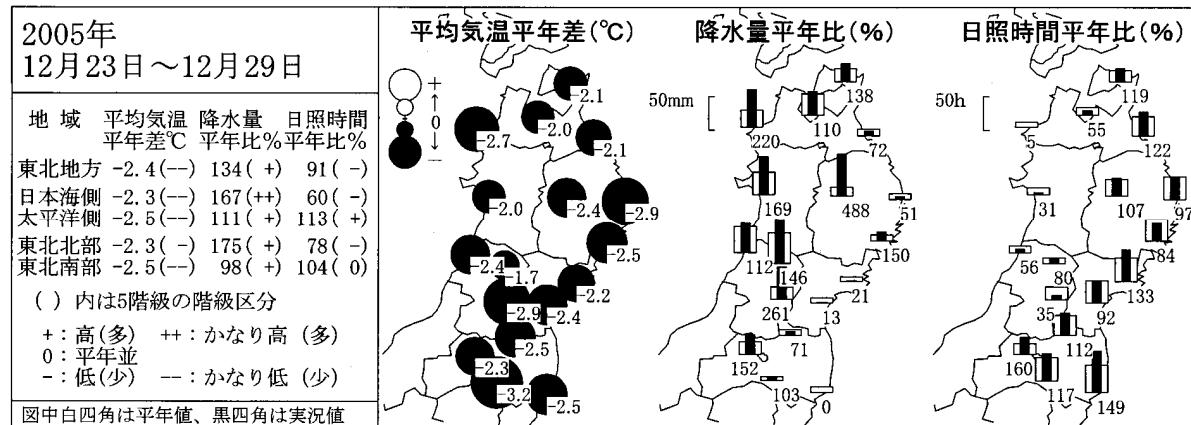
1週目は、本州の南海上を中心に降水域が見られる。東北地方は南海上の低気圧の影響を受けることがある見込み。2週目は冬型の気圧配置が強まり日本海側で降水域が見られる。3~4週目も冬型の気圧配置で日本海側では降水域が見られる。



4. 最近1週間（12月23日～12月29日）の天候の経過

この期間、強い冬型の気圧配置となる日が多かったため、東北日本海側では曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多かった。強い寒気が南下したため気温は引き続き平年より低く経過し、秋田、盛岡、大船渡で12月としての最深積雪を更新した。25日から26日にかけては日本海北部を低気圧が発達しながら通過したため、日本海側では風が強まり、山形県のJR羽越線で列車が脱線・転覆した。

平均気温は東北北部で低く、東北南部でかなり低い。降水量は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）